

平成19年度の水道施設の更新・改良事業の概要

緊急貯水槽整備事業

災害に強い水道の構築をめざし、給水拠点の一つである滝沢ふるさと交流館に、緊急貯水槽を整備しました。

有効容量40m³ 1基

この整備により、災害発生から3日間、約4千人分の応急給水が確保されました。

配水施設整備事業

幹線管路の耐震化、未給水地域解消のための配水管整備、老朽配水管の更新などを行いました。

幹線耐震化 1,879.6m

未給水地域解消 531.7m

老朽管更新 5,529.1m

鉛製給水管更新事業

漏水事故や水質への影響が懸念される鉛製給水管の更新を進めました。

更新件数 229件

水道情報管理システム

管路情報の地図検索システムの構築を図りました。

配水管路部 供用開始

※戸別情報入力 平成20年度完了

漏水対策事業

給水区域の小ブロック化による漏水調査及び修理しました。

調査延長 197km

漏水発見 7ヶ所



純利益（黒字）はどうするの？



純利益（黒字）に相当する水道料金は、設備投資するために国等から借りた借金（企業債）を返済するために使われます。赤字になると借金を返すことが困難になり、経営が圧迫されます。



損益勘定留保資金とはどのようなものですか？



損益勘定留保資金とは、水道事業の経費の中で固定資産の目減り分を毎年の費用として計上する減価償却費など現金支出を伴わない経費です。



この経費に相当する水道料金は、古くなった水道施設の更新や配水管の耐震化など施設改良の資金として使われます。



水道無料点検



上下水道部では水道週間で応募いただいた22件のご家庭の水道無料点検を行いました。

無料点検に訪問したご家庭のコメント

「不安な箇所を見てなおしていただき、とてもよかったです。また、新たに漏水をしている箇所を見つけてもらい大変助かりました。これからもこのような機会をつづけていただければと思います。」

